

平成27年度第2回 松戸市公共施設再編整備推進審議会

日時：平成27年12月15日（火）9：00～

場所：松戸市役所新館5階市民サロン

会議次第

1. 開会

2. 議事

(1) 前回の議事の確認

(2) （仮称）公共施設再編基本計画の概要について

(3) 公共施設再編とコミュニティプランニングについて

(4) まちづくり用地（東松戸65街区）の利活用について

3. 閉会

平成 27 年度第 1 回 松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事要旨

日 時：平成 27 年 10 月 27 日（火）9：00～10：30

場 所：松戸市役所新館 5 階 市民サロン

出席者：柳澤委員（委員長）、藤村委員（副委員長）、小川委員

欠席者：池澤委員、原田委員

○ 委員の委嘱、市長挨拶の後、会長に柳沢委員、副会長に藤村委員が選任される。

○ 議事

(1) 松戸市公共施設の実態について

(2) 松戸市公共施設再編整備の基本方針について

■ 事務局より「公共施設白書」並びに「基本方針」の概略説明

<主な意見>

- コスト削減ばかりに気を取られると、まちとしての魅力がなくなり、人が来なくなる。施設数は削減しても、いかに施設のコンテンツの質を上げていくかが重要。
- 地方から郊外、都心まで様々な都市の課題に取り組んできたが、異なる空間の問題があり、正解がない。数値目標だけでは物事は動かない、どう地図に落として地域単位で実行するかが問題。
- 個別の施設の議論を審議会の側から提案するのは難しい。
- 削減目標を延床面積ベースで定める必要があるのではないか。
- 個別の具体的な状況がないと議論が深まらない。例えば、学級数予測などは不可欠。
- 審議会として、コミュニティプランニングの考え方や基本計画のフレームを議論できればよい。
- 空間区分が未整理という印象を受けた（中学校区、自治会等）。公共施設再編は松戸市としてのコミュニティ単位の見直しの機会であり、単位を見据えて整備する必要がある。
- コミュニティの線引きは、プラスマイナスがあるが、助けを求めるところ、よりどころがあるのはよい

(3) 松戸市公共施設再編整備基本計画策定のスケジュールについて

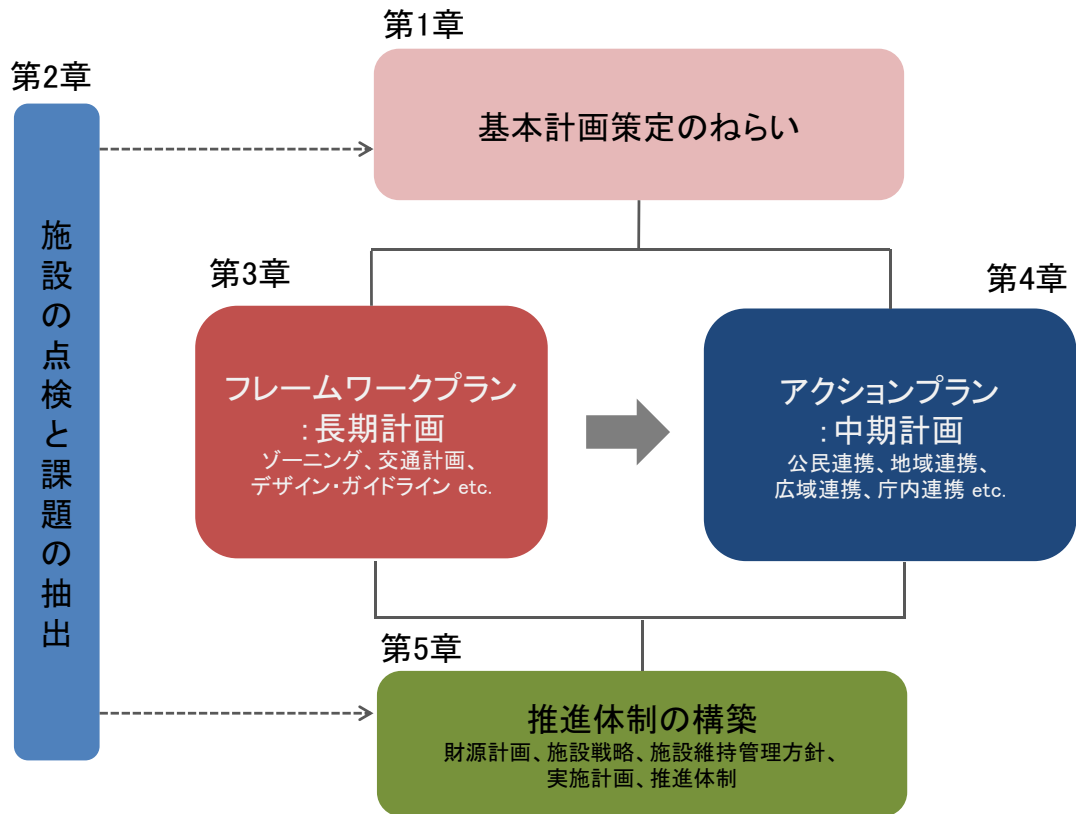
■ 事務局より「基本方針」における作業工程に関する概略説明

<主な意見>

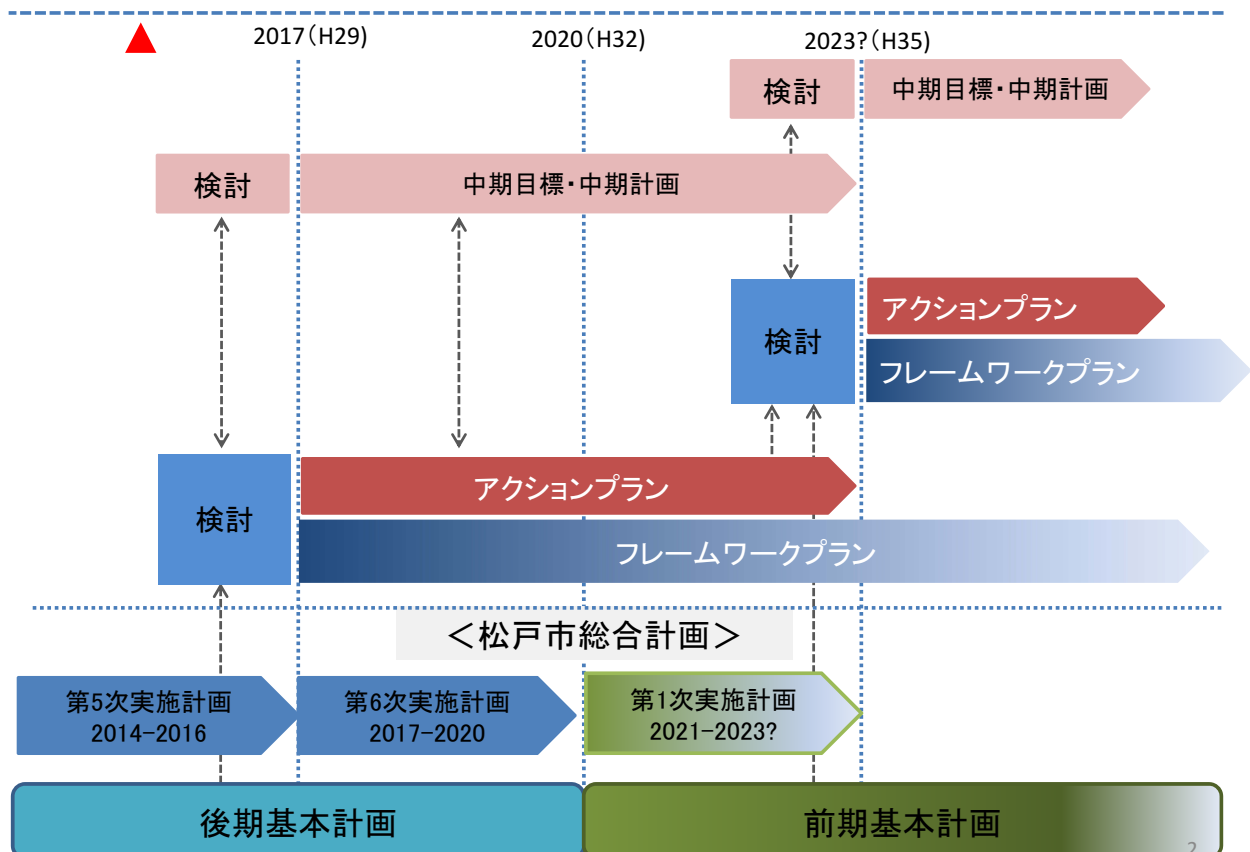
- 基本計画のフレームの議論と個別計画の議論を矛盾なく進める必要がある。
- 個別の処方箋はプロトタイプとして、分析を急ぐべき。
- 新施設の計画は、行政側の論理だけで機械的に進めるのではなく、ワークショップ等の市民参画の取組と矛盾なく進めていく必要がある。
- 新施設の計画を進めるには、十分なコミュニケーションが必要。スケジュールの問題あると思うが、慎重に進めるべき。
- 市民参画の手法として、シャレット・ワークショップは非常に有効。パイロットプロジェクトとして位置づけ、審議会とも連携して進めるべき。

以上

基本計画の構成(案)



基本計画の位置づけ



習志野市の場合

— 習志野市公共施設再生計画(2014.3) —

3

公共施設再生計画の目的

1. 時代の変化に対応した公共サービスを継続的に提供すること。
2. 人口減少社会の中で持続可能な都市経営を実現すること。
3. 将来世代に負担を先送りしないこと。

目的を達成するための目標

1. 公共施設が適正に維持されること。
2. 公共施設の延床面積を削減し、再生整備に必要な事業費を 30%圧縮する。
 [削減・圧縮率については、今後の公共施設再生計画の計画期間内の環境変化に応じて、
 適宜見直しを行っていきます。]
3. ファシリティ・マネジメントを導入し、公共施設について事後保全から予防保全に転換し、長寿命化を図りライフサイクルコストを低減する。



4

市内に一つまたは数施設あり、全市民が利用する機能あるいは全市民のために存在する施設。

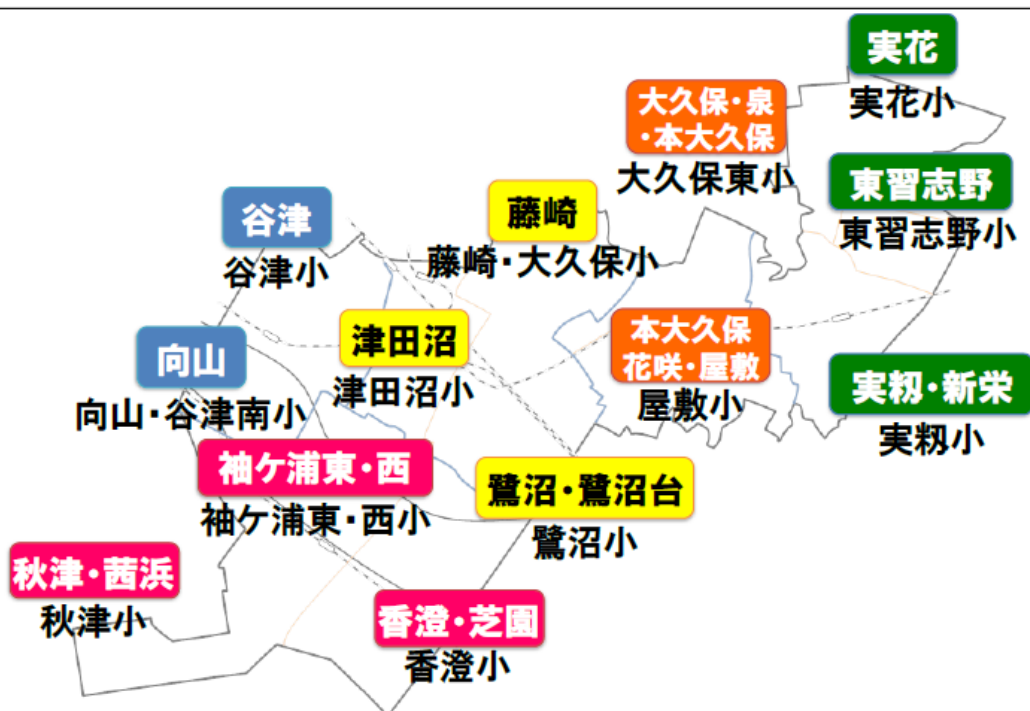
全市利用施設は、これまでと同様に「エリア分散型」の考え方に沿って、配置していく。



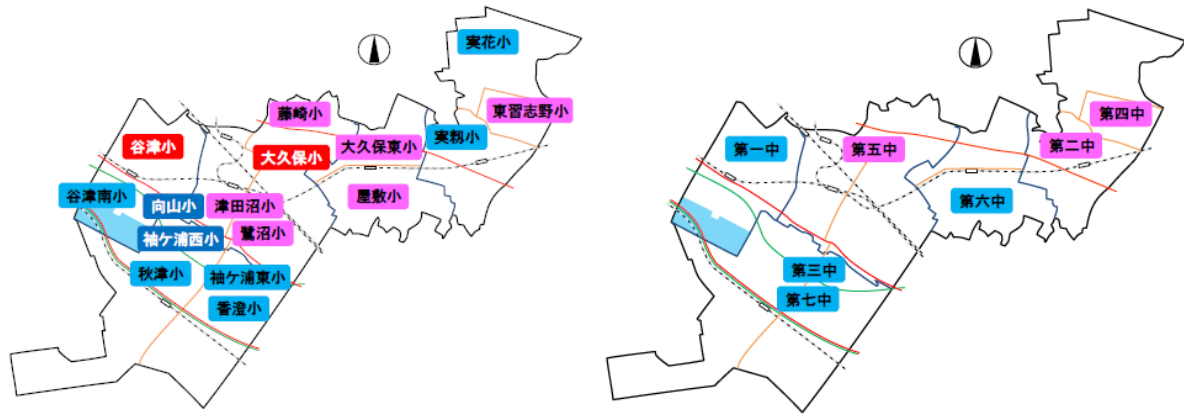
5

コミュニティごとに配置され、施設が所在する地域の市民が、主に利用する施設。

小学校を地域の拠点施設とし、施設更新に伴い、複合化可能な地域利用施設は複合化する。



6



案 ①

第三中学校敷地に、第三中学校と第七中学校を統合し、第七中学校敷地に秋津小学校と香澄を統合、袖ヶ浦公園・体育館敷地に、袖ヶ浦西小学校と袖ヶ浦東小学校を統合する案。

案 ②

第三中学校敷地に、袖ヶ浦西・袖ヶ浦東小学校及び第三中学校を統合し、第七中学校敷地に、秋津・香澄小学校及び第七中学校を統合し、小中一貫校とする案。

習志野市学校施設再生に関する提言書(2013.3) 7

ケース1

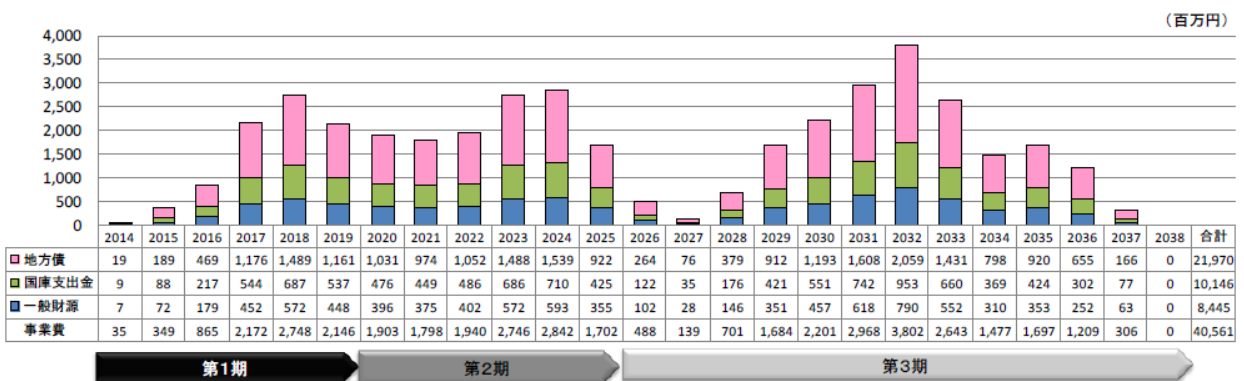
年度	前期基本計画期間 公共施設再生計画【第1期】						後期基本計画期間 公共施設再生計画【第2期】						公共施設再生計画【第3期】													
	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34	2023 H35	2024 H36	2025 H37	2026 H38	2027 H39	2028 H40	2029 H41	2030 H42	2031 H43	2032 H44	2033 H45	2034 H46	2035 H47	2036 H48	2037 H49	2038 H50	
津田沼小																										
大久保小																										
谷津小																										
鷺沼小																										
実羽小																										
大久保東小																										
袖ヶ浦西小																										
袖ヶ浦東小																										
東習志野小																										
屋敷小																										
藤崎小																										
実花小																										
向山小																										
秋津小																										
香澄小																										
谷津南小																										
第一中																										
第二中																										
第三中																										
第四中																										
第五中																										
第六中																										
第七中																										

ケース2

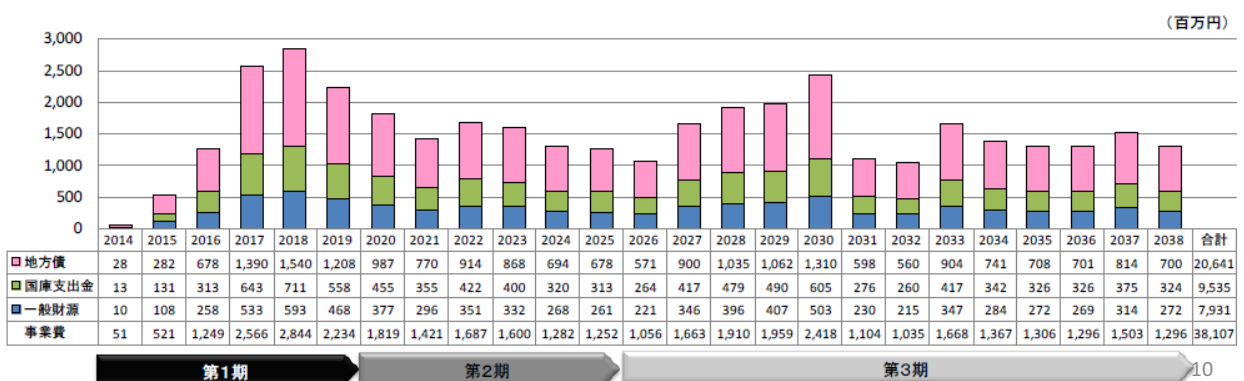
年度	前期基本計画期間						後期基本計画期間						公共施設再生計画【第3期】													
	公共施設再生計画【第1期】						公共施設再生計画【第2期】						公共施設再生計画【第3期】													
	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 H32	2021 H33	2022 H34	2023 H35	2024 H36	2025 H37	2026 H38	2027 H39	2028 H40	2029 H41	2030 H42	2031 H43	2032 H44	2033 H45	2034 H46	2035 H47	2036 H48	2037 H49	2038 H50	
津田沼小																										改修
大久保小																										建替
谷津小																										建替
鷺沼小																										建替
突和小																										建替
大久保東小																										改修
袖ヶ浦西小																										改修
袖ヶ浦東小																										改修
東習志野小																										改修
屋敷小																										改修
藤崎小																										改修
実花小																										改修
向山小																										改修
秋津小																										改修
香澄小																										改修
谷津南小																										改修
第一中																										改修
第二中																										改修
第三中																										改修
第四中																										改修
第五中																										改修
第六中																										改修
第七中																										改修

9

ケース1



ケース2



実施します

第1期

第2期

第3期

■ ケース1 ■ ケース2 ■ 共通

大久保公民館・市民会館・
勤労会館・大久保図書館

複合化

生涯学習地区センター
ゆうゆう館

大久保公民館に複合化

大久保保

一部建替(こども園化)

あづまこども会館

勤労会館に複合化

大久保東小

建替

本大久保保・
本大久保第二保

私立化

屋敷公民館

大久保公民館に複合化



11

見直しの可能性あり

第1期

第2期

第3期

■ ケース1 ■ ケース2 ■ 共通

大久保第二保
私立化

大久保東小
建替

大久保東幼
私立化・廃止等

第八分団
建替

屋敷幼
私立化・廃止等



12

用途地域・まちの成り立ち(DID)について

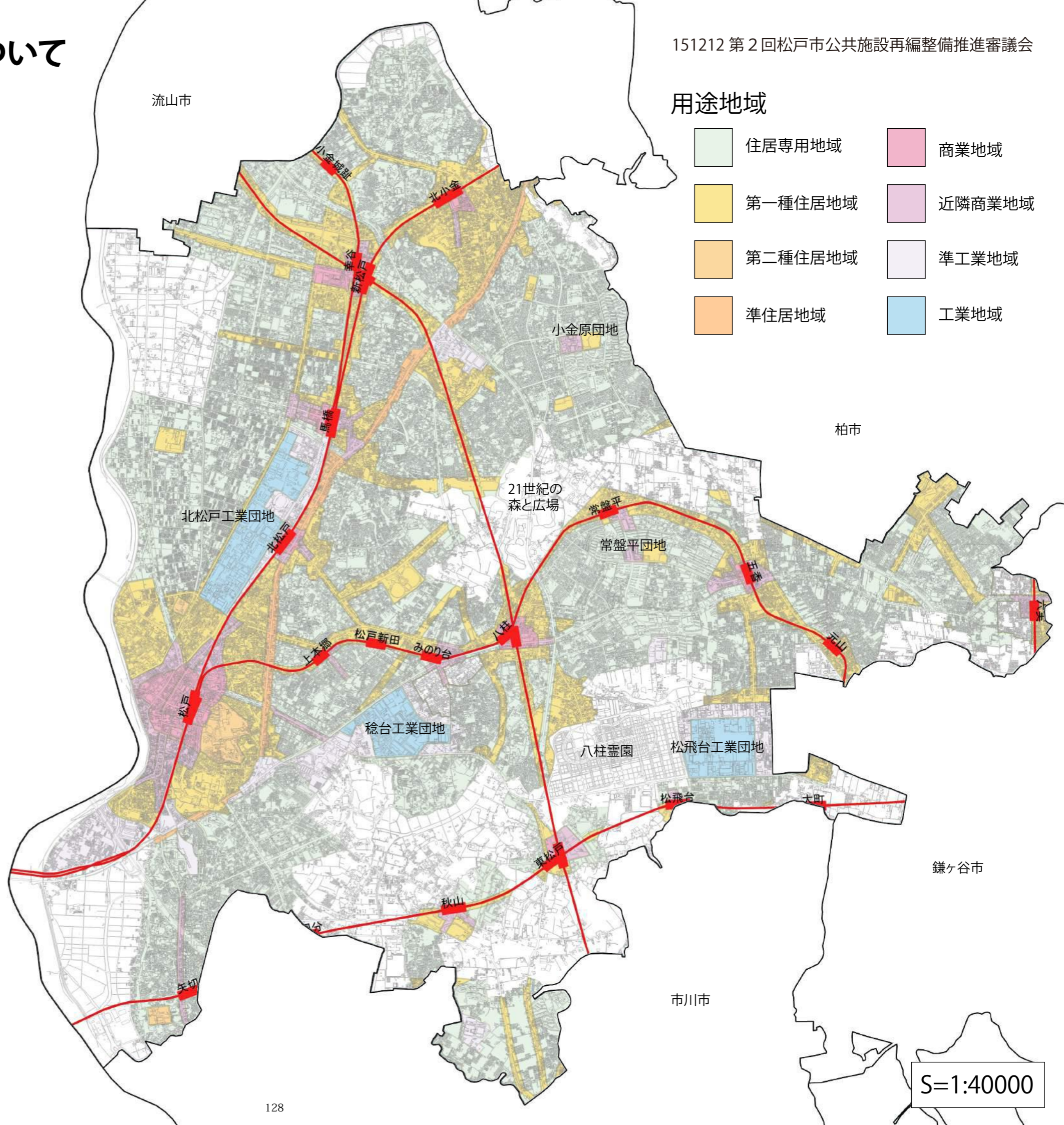


1960年時点では松戸駅、矢切駅周辺のみがDIDだった状況から、1965年時点では4839戸の常盤平団地(1962)が完成し、北松戸、稔台、松飛台の工業団地の造成が開始され、人口10万人を突破。

1970年時点では、小中学校などの公共施設の整備も進み、小金原団地(1971)も完成し、1973年には、新松戸駅が開設され、武蔵野線新松戸-府中本町間が開通し、30万人を突破。現在の図書館本館が開館(1974)

1980年時点で全市的に公共施設整備もほぼ完了し、人口は40万人を突破。1981年に市民劇場がオープン。

1980年以降にはDIDも拡大が収まり、1988年に人口45万人を突破して以降は人口増加は鈍化。

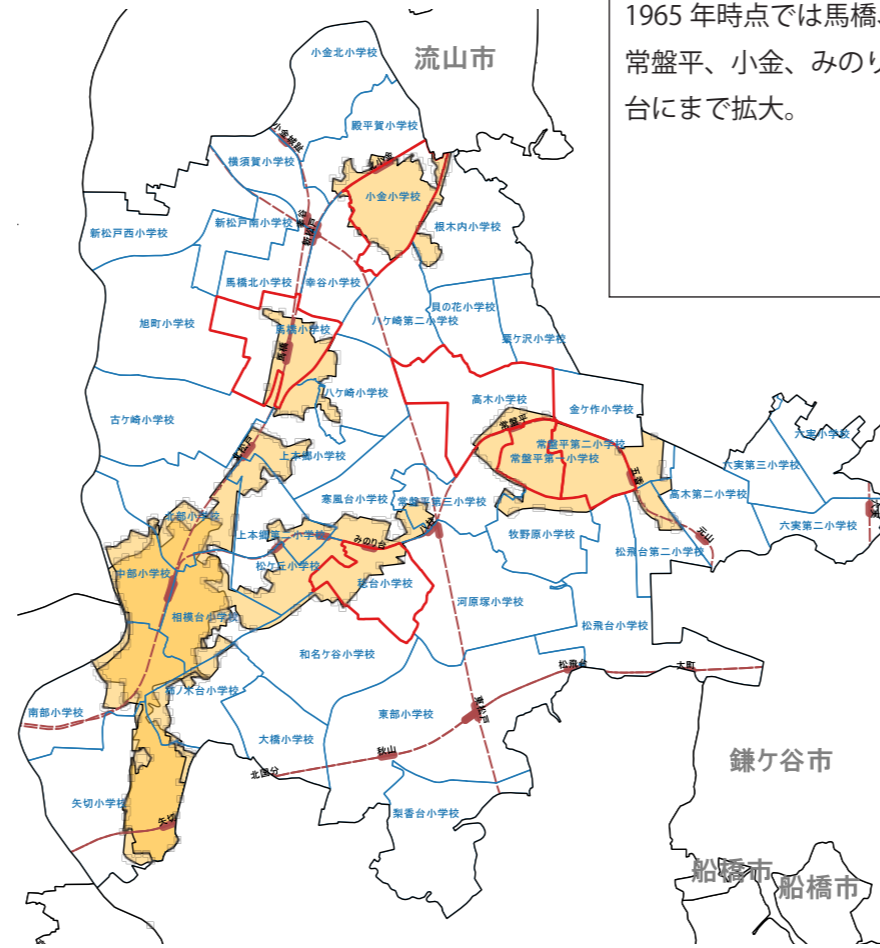


■DID1960



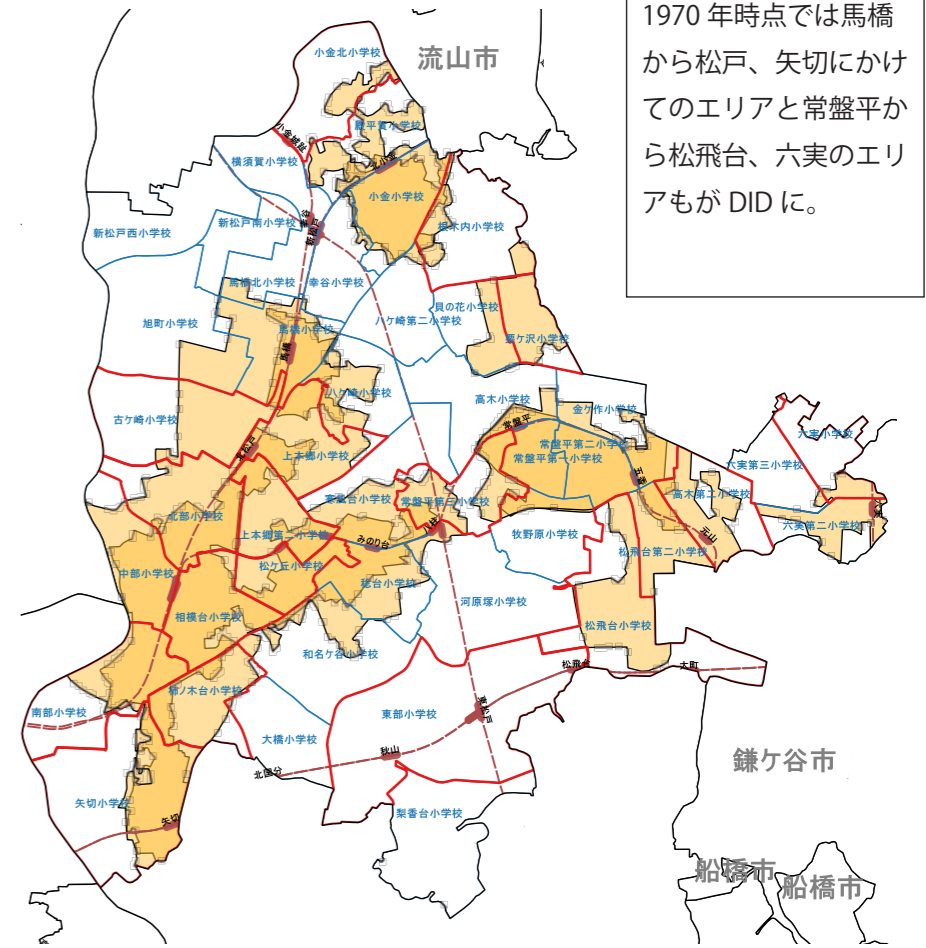
1960年時点では松戸、矢切のみがDID。

■DID1965・1961-1965 にできた小学校



1965年時点では馬橋、常盤平、小金、みのり台にまで拡大。

■DID1970・1966-1970 にできた小学校



1970年時点では馬橋から松戸、矢切にかけてのエリアと常盤平から松飛台、六実のエリアもがDIDに。

■DID1980・1971-1980 にできた小学校



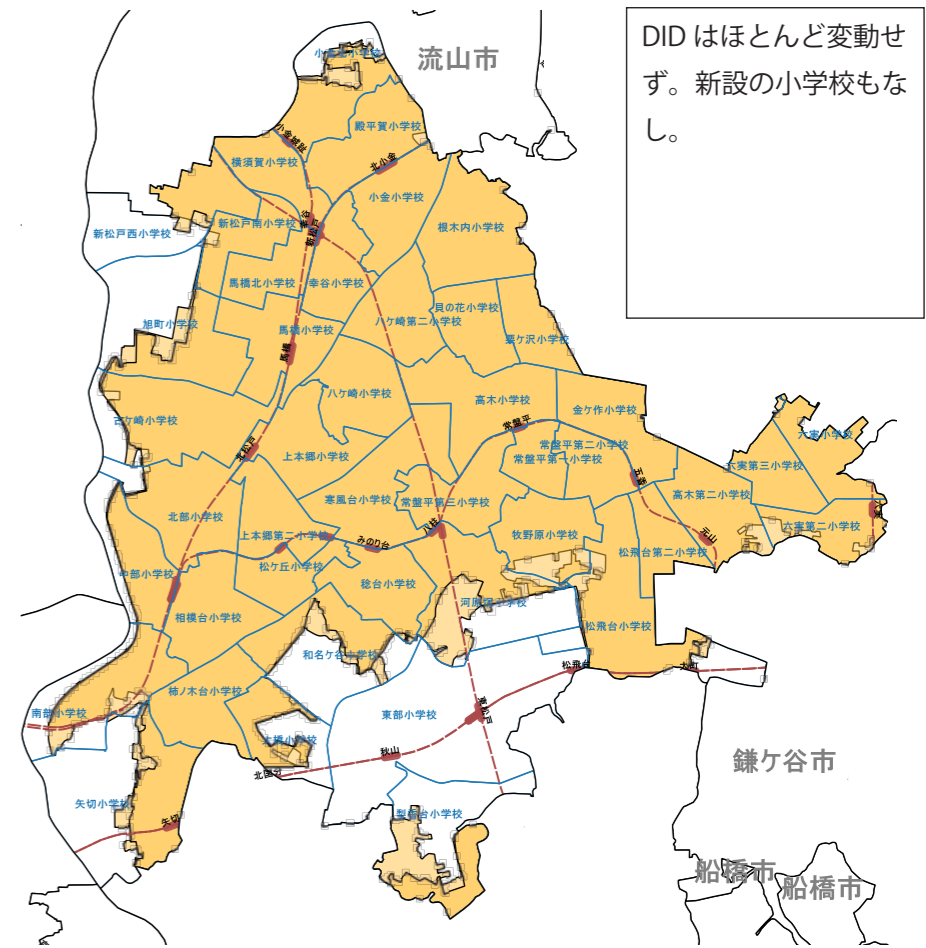
かなりのエリアがDIDに。小学校の整備もこの時期にほとんど完了する。

■DID1990・1981-1990 にできた小学校



DIDは新松戸西部で広がる以外はほとんど変化なし。第2次ベビーブーマーが小学校にあがるこの年代では2校が新たに建設。

■DID2010



DIDはほとんど変動せず。新設の小学校もなし。

小学校について



小学校数は44。

H27時点で12学級を下回る小学校(常盤平第一小、六実第二小)が常盤平、六実といった東の地区で見られる。新興住宅エリアである東部小ではすでに学級数がかなり多い。(第二校が建設中)

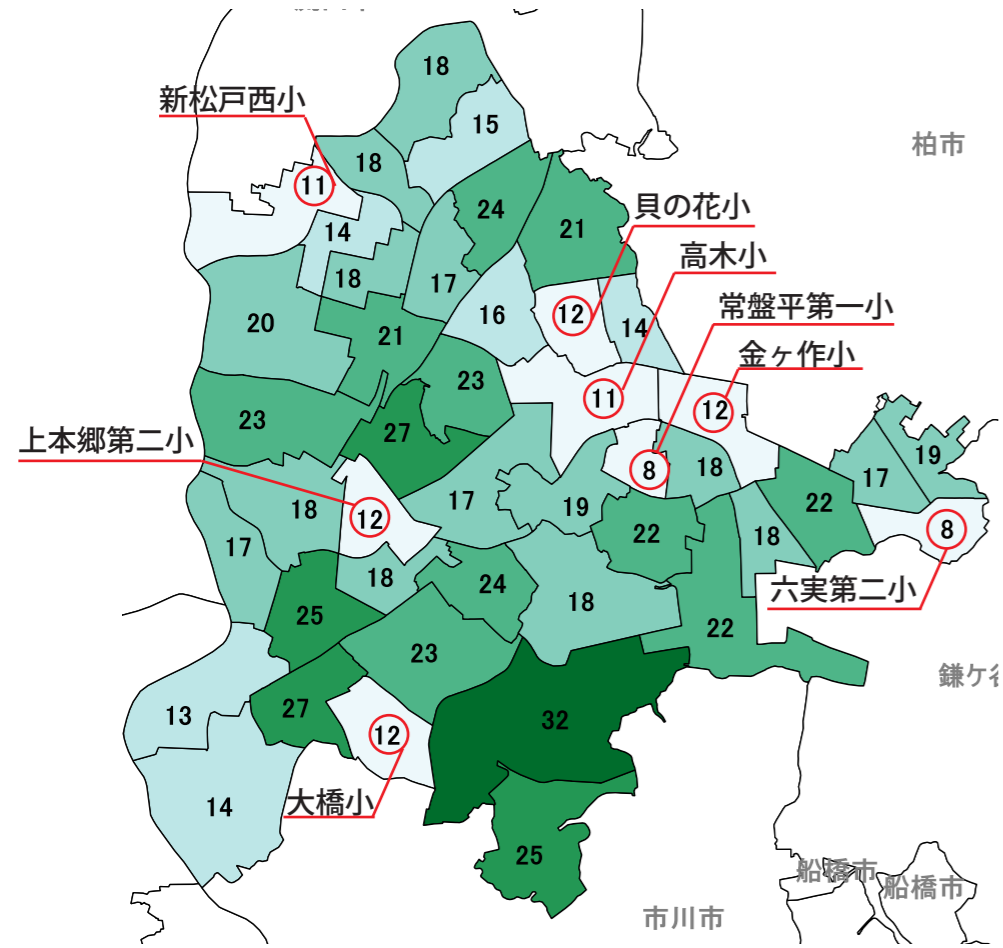
一方、H33時点では12学級を下回る小学校(常盤平第一小、大橋小)はあまり増えてはいないが、常盤平、小金原といった北東の地区で12学級の小学校(八ヶ崎第二小、貝の花小、栗ヶ沢小)が集中している。

H27→H33を比較してみると、顕著に学級数が増える小学校(東部小、北部小、新松戸西小)が本庁松戸、東部、新松戸地区で見られる。顕著に増えるのは松戸駅から比較的近い北部小の他は、ほとんど松戸市の周縁のエリアである。馬橋、常盤平の南部、矢切、東部地区の東部小を除いたエリアでは、顕著に学級数の減少している。

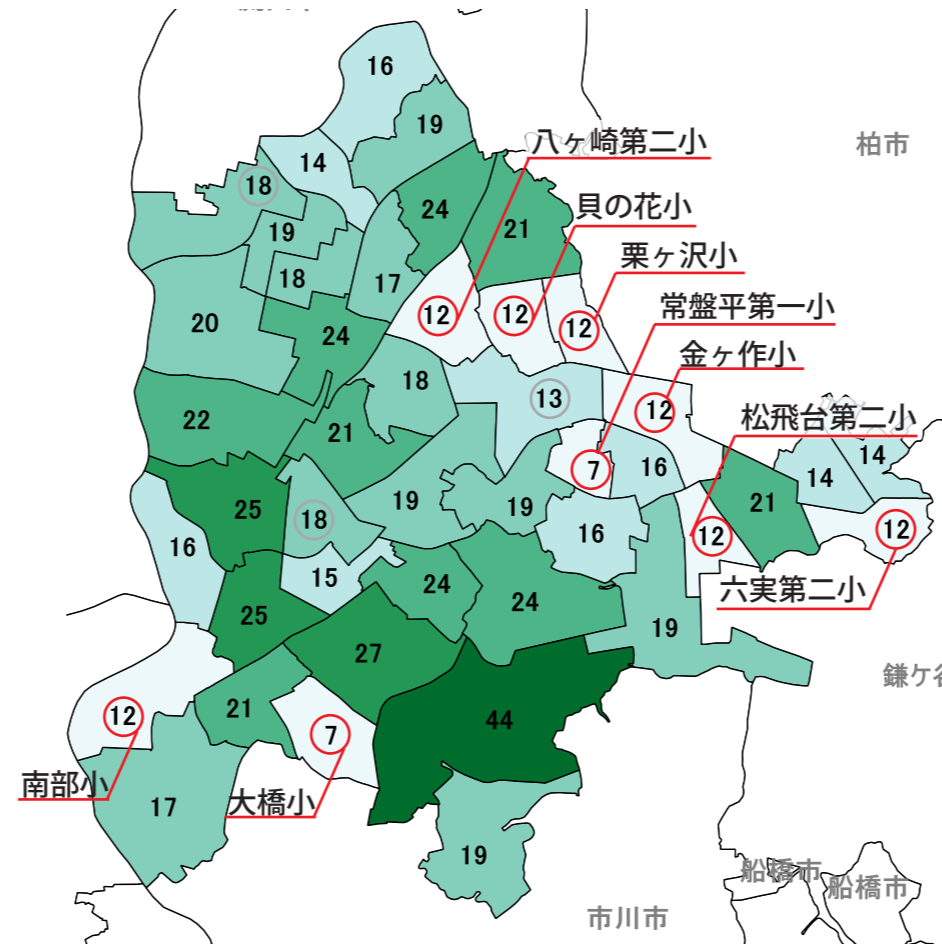
S=1:40000

小学校について

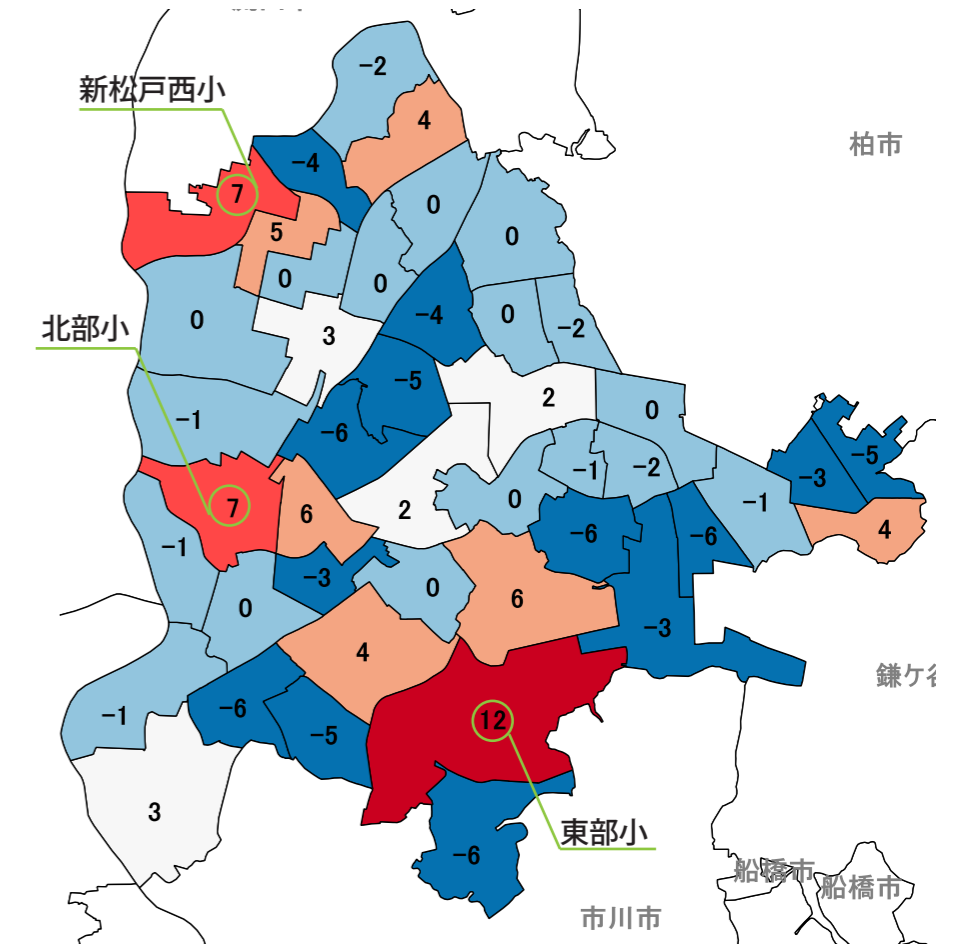
■H27 小学校の学級数



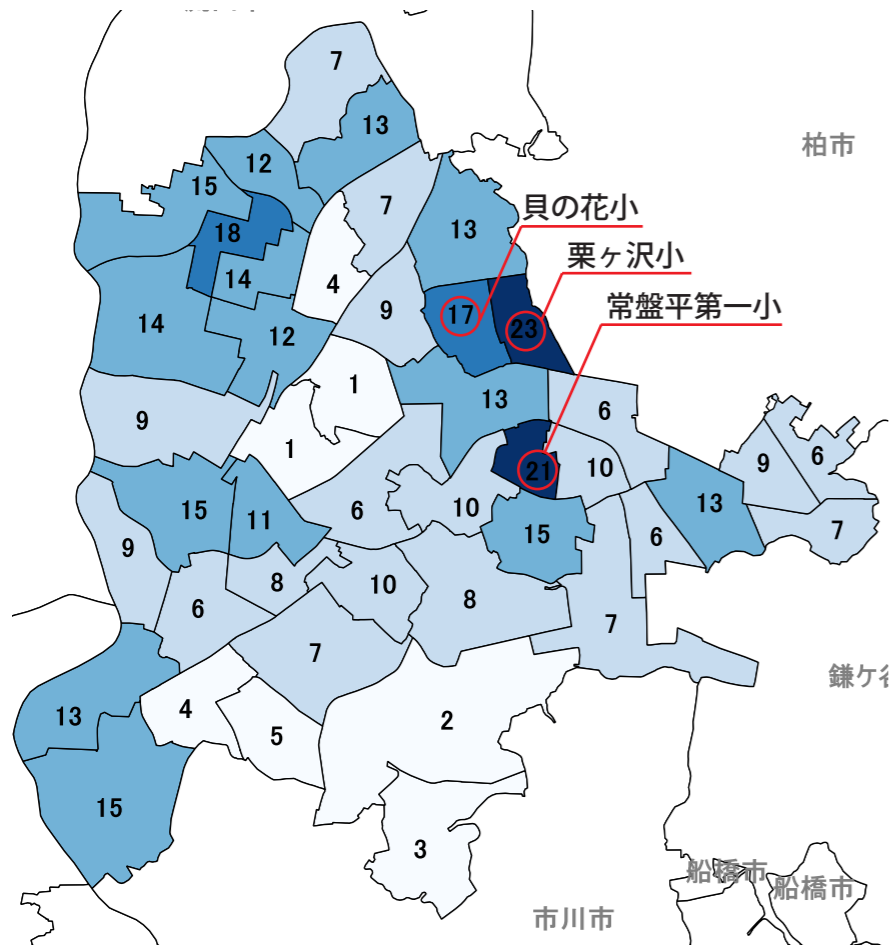
■H33 小学校の学級数



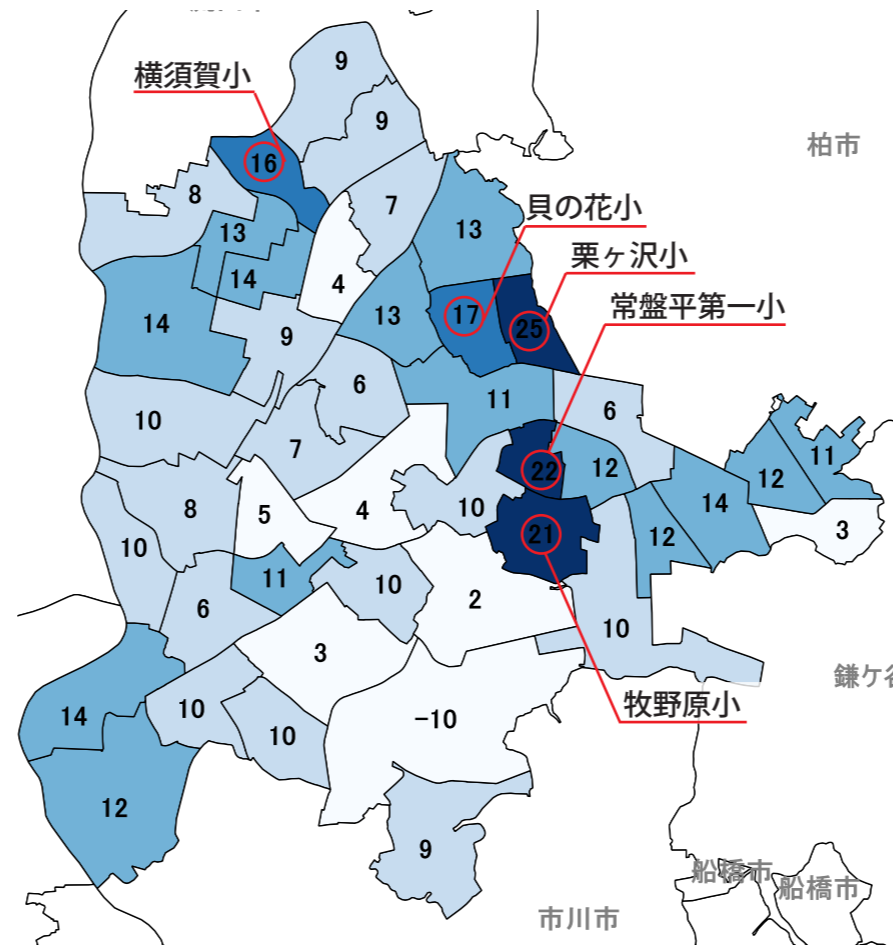
■H27-H33 の小学校の学級数の変動



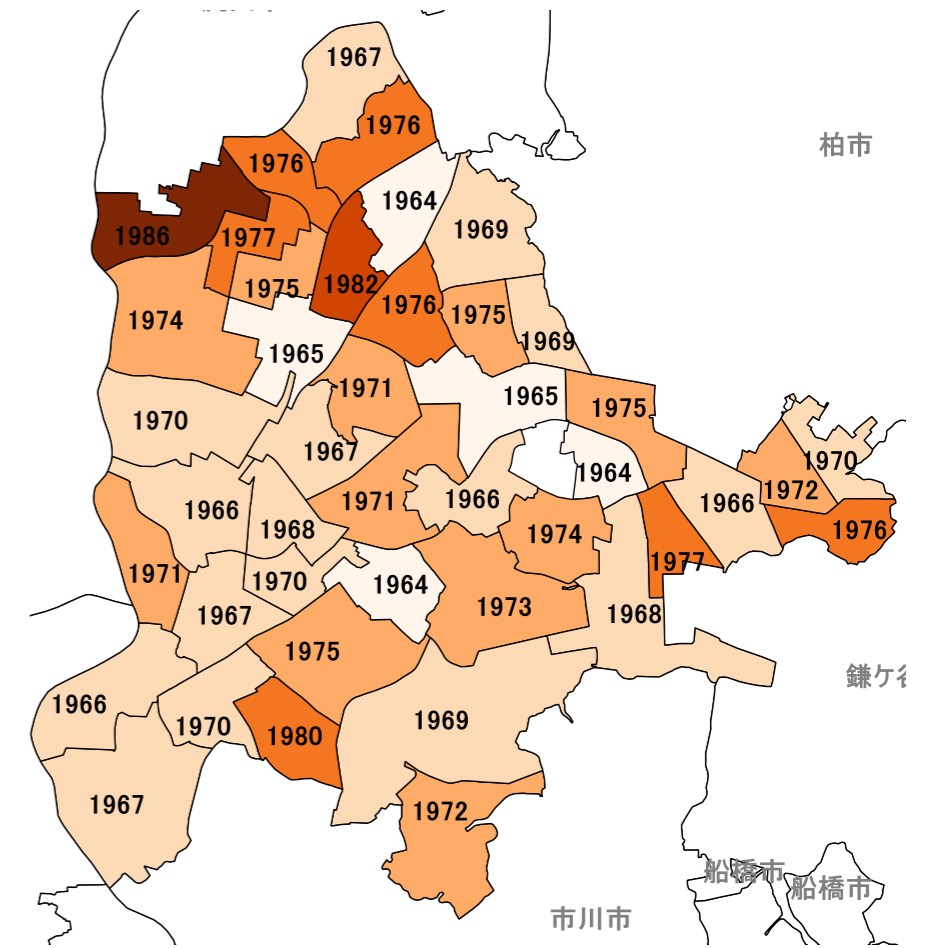
■H27 小学校の空き教室数



■H33 小学校の空き教室数



■小学校の建設年度



中学校について



中学校数は20。

H27時点で松戸駅周辺の中学校の学級数が多く、常盤平、新松戸、小金、小金原といった地区では学級数が少ない。

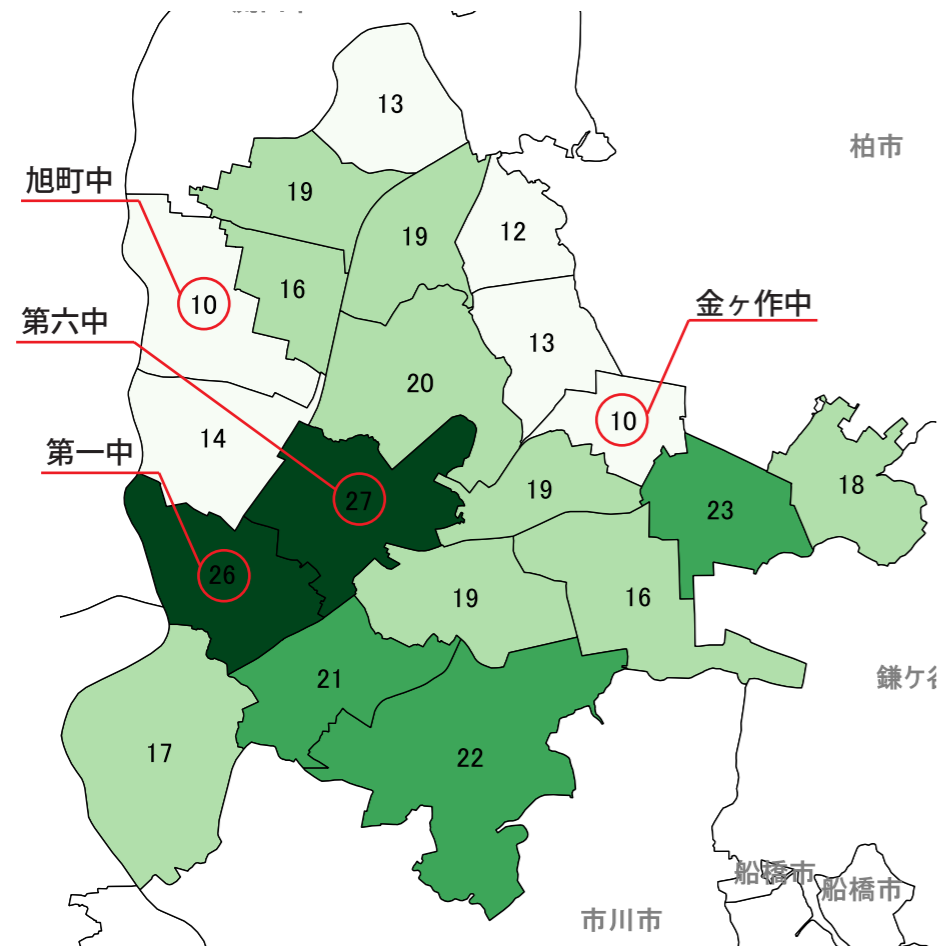
H33時点でもおよそその傾向は維持されるが、東部地区の中学校(第五中)が最大学級数となる。

学級数が大幅に増加する中学校は第五中以外には見られず。一方、松戸市北部の馬橋、新松戸および常盤平では大きく減少しているところが見られる。

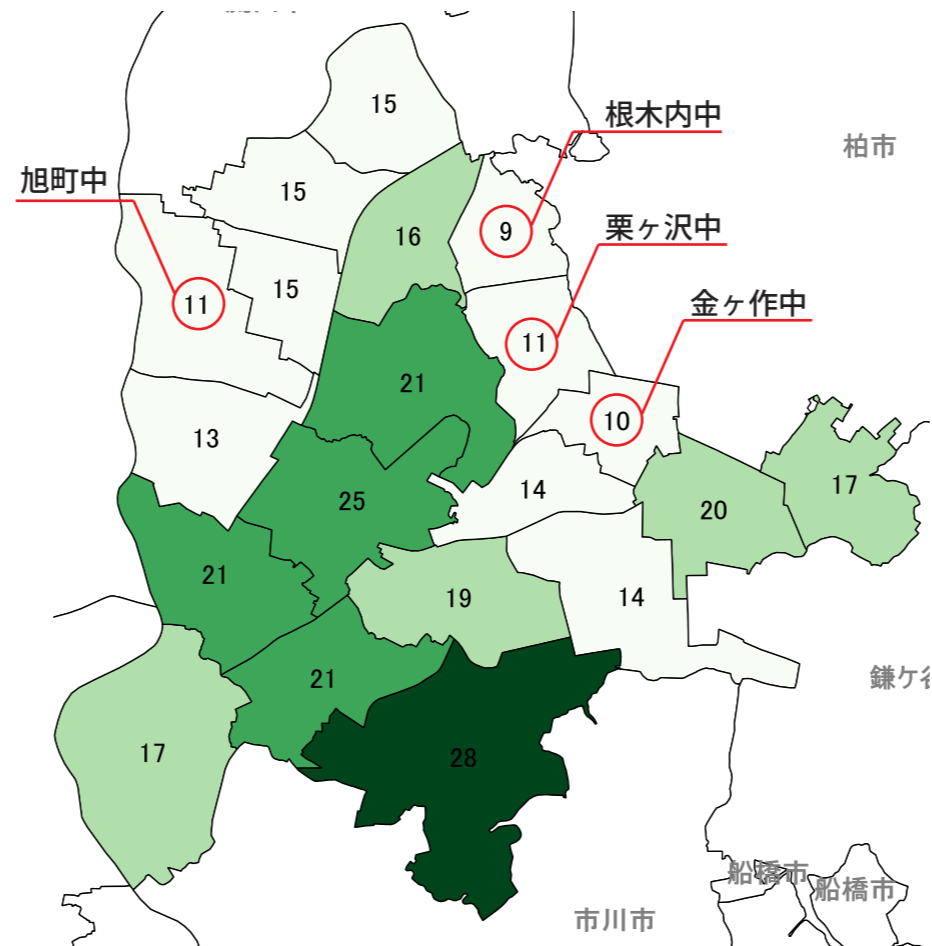
S=1:40000

中学校について

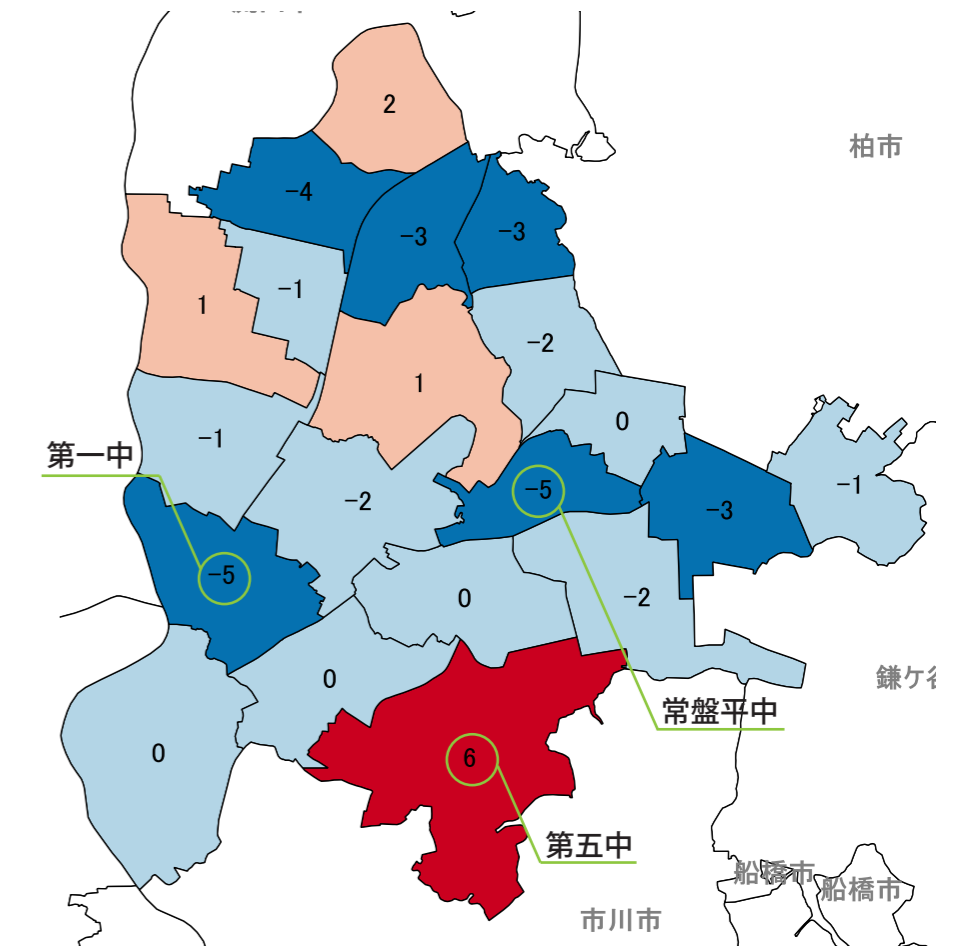
■H27 中学校の学級数



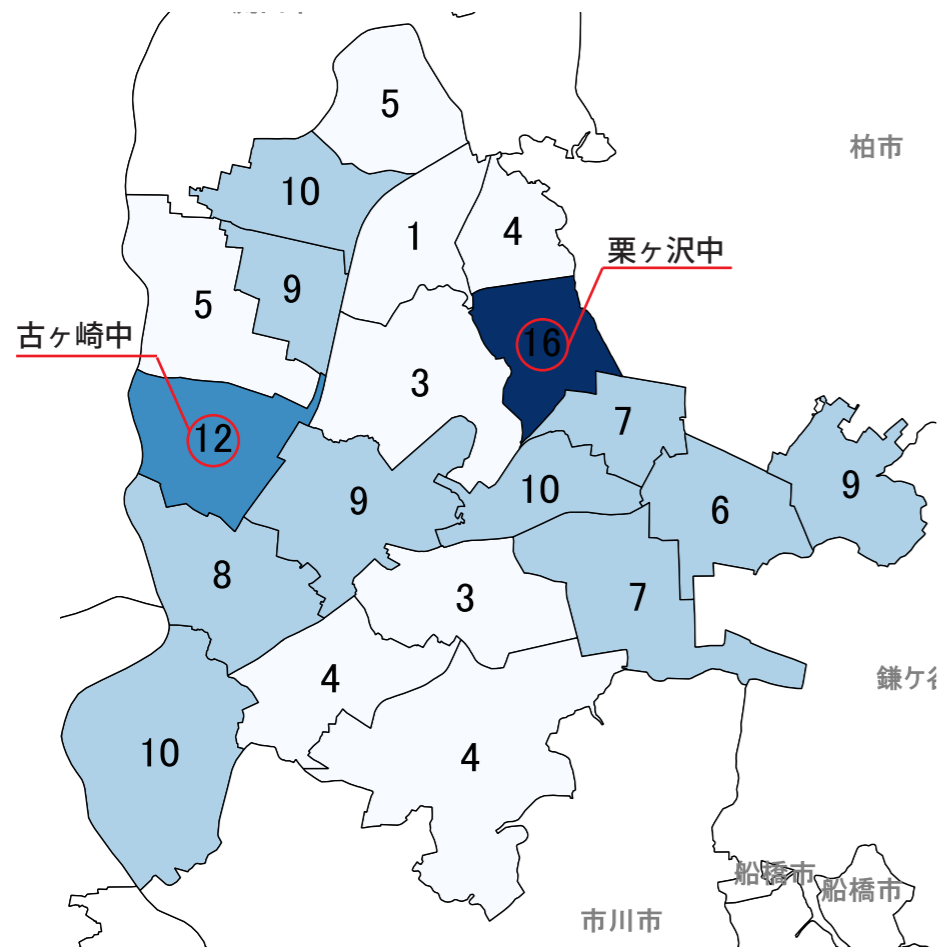
■H33 中学校の学級数



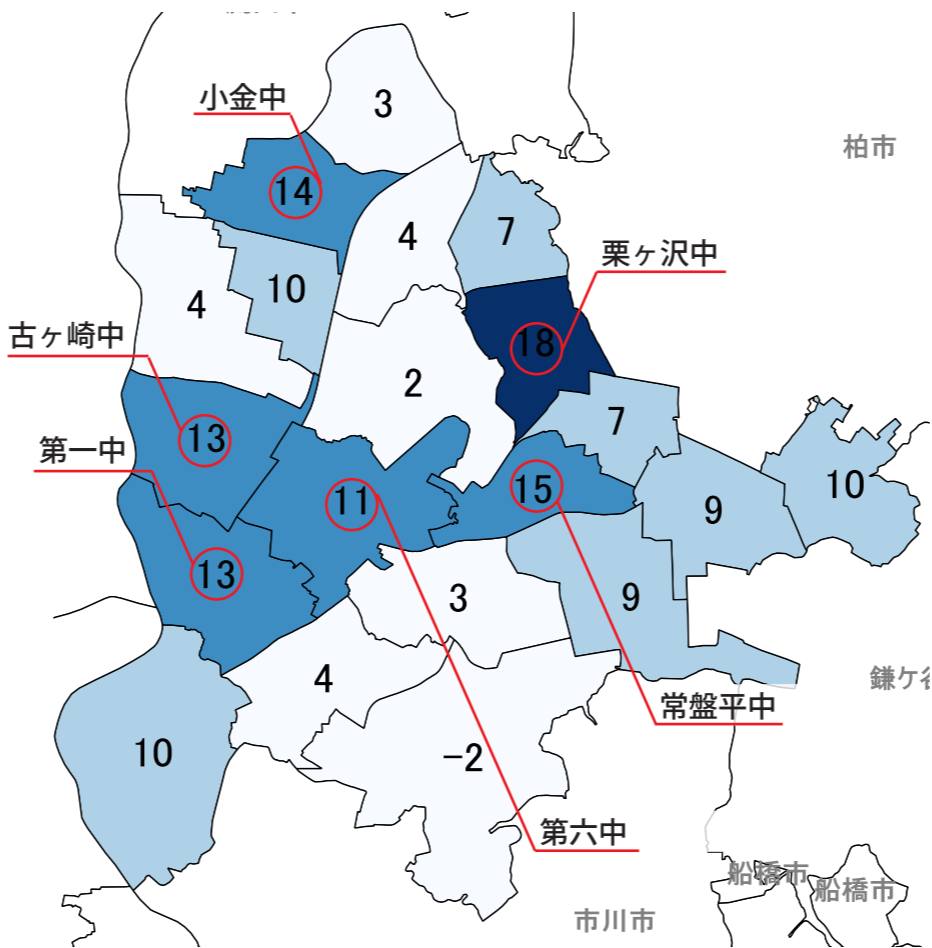
■H27-H33 の中学校の学級数の変動



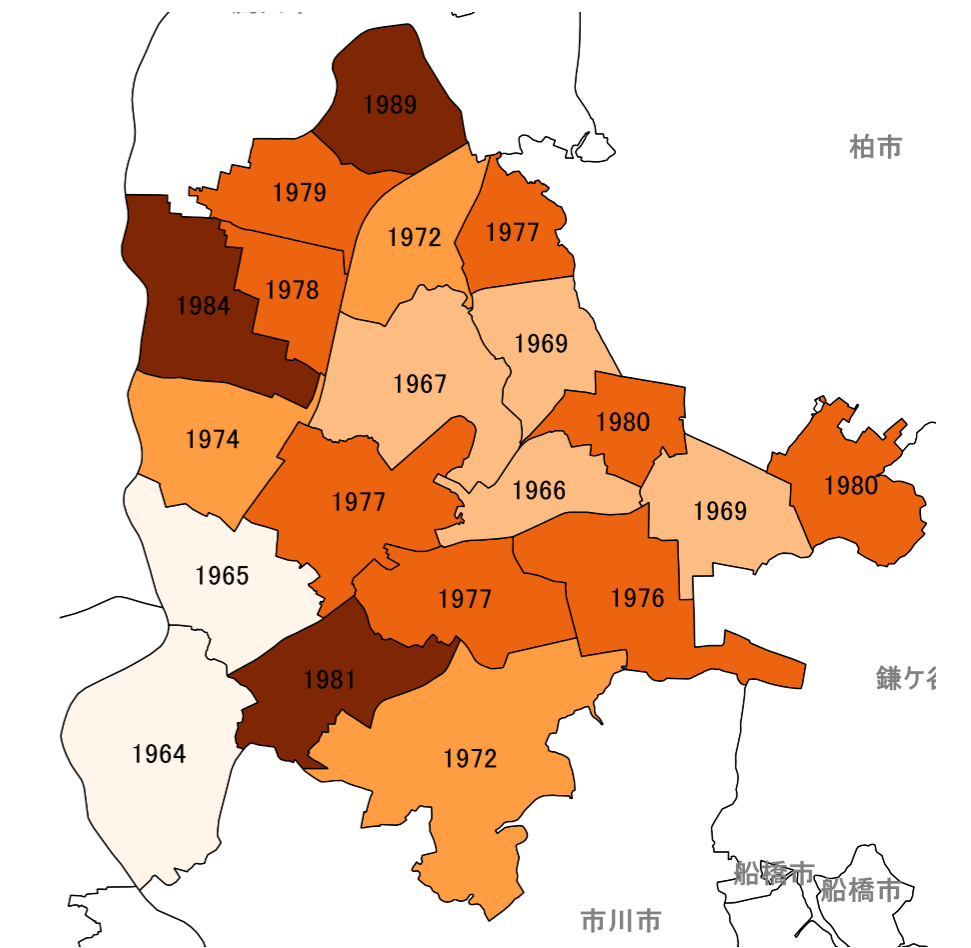
■H27 中学校の空き教室数



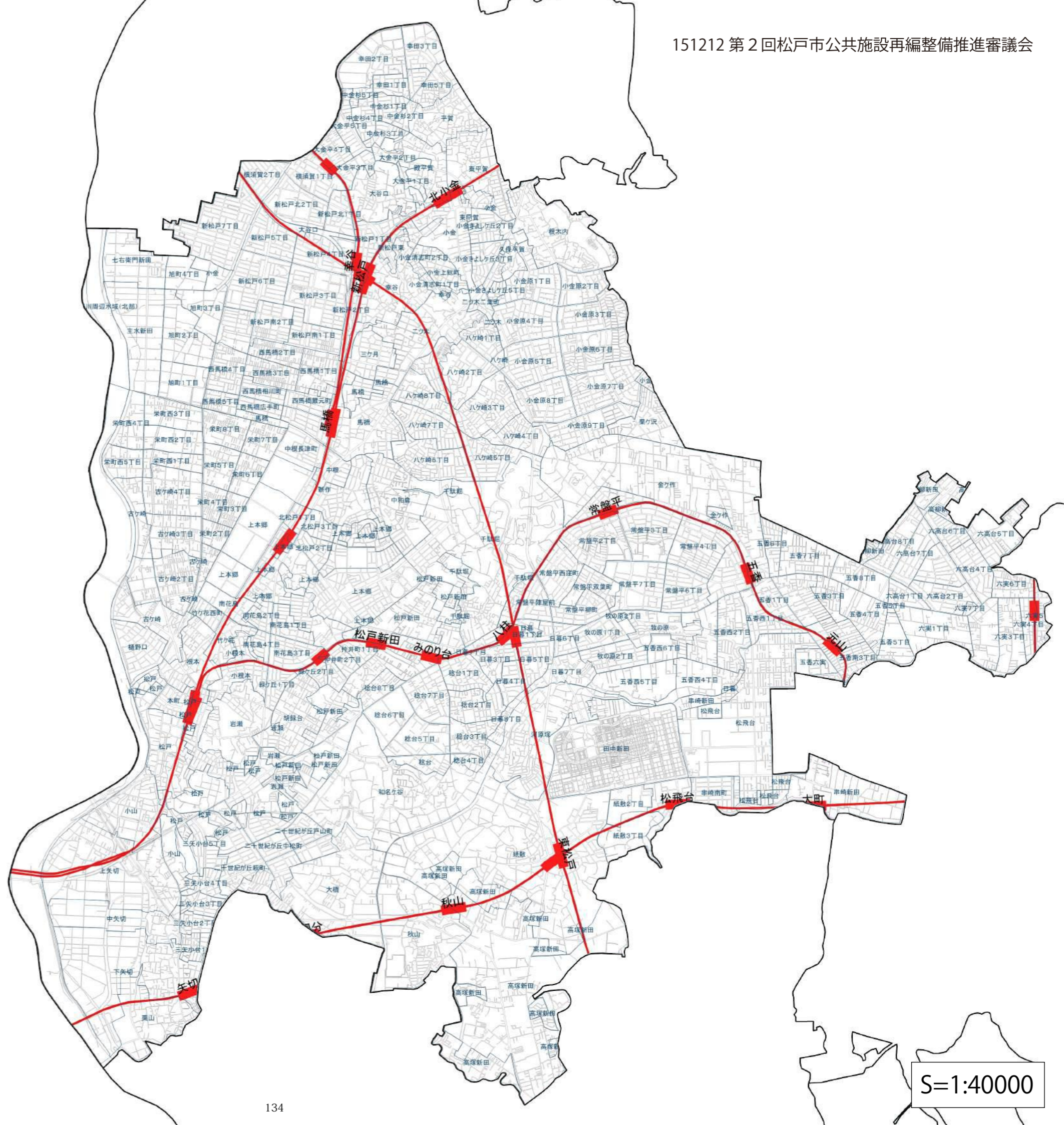
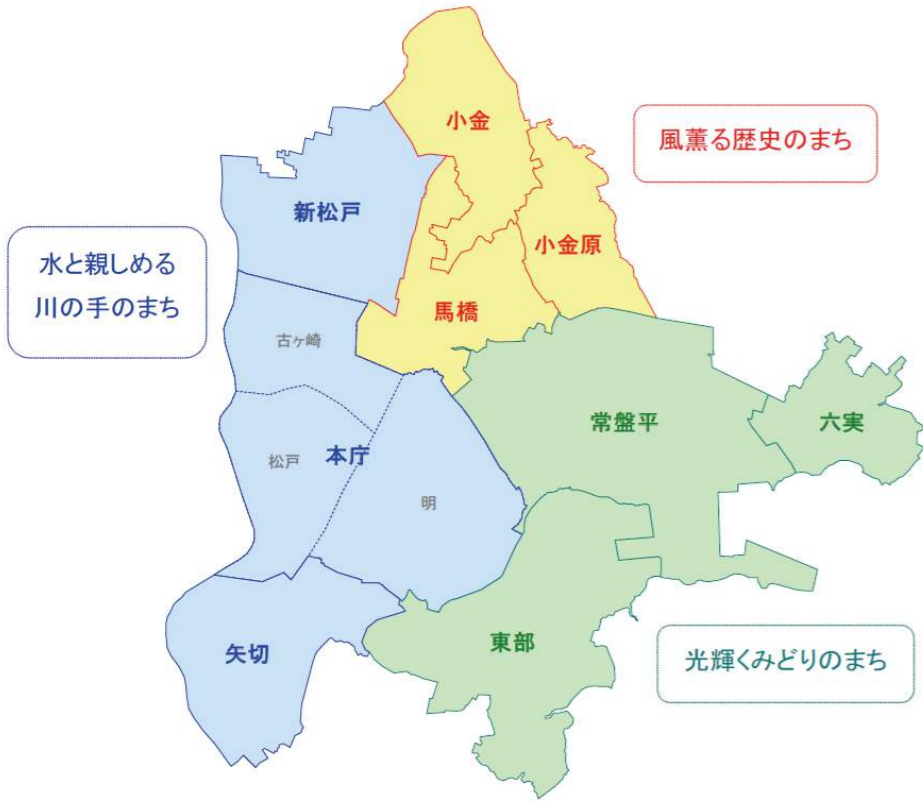
■H33 中学校の空き教室数



■中学校の建設年度

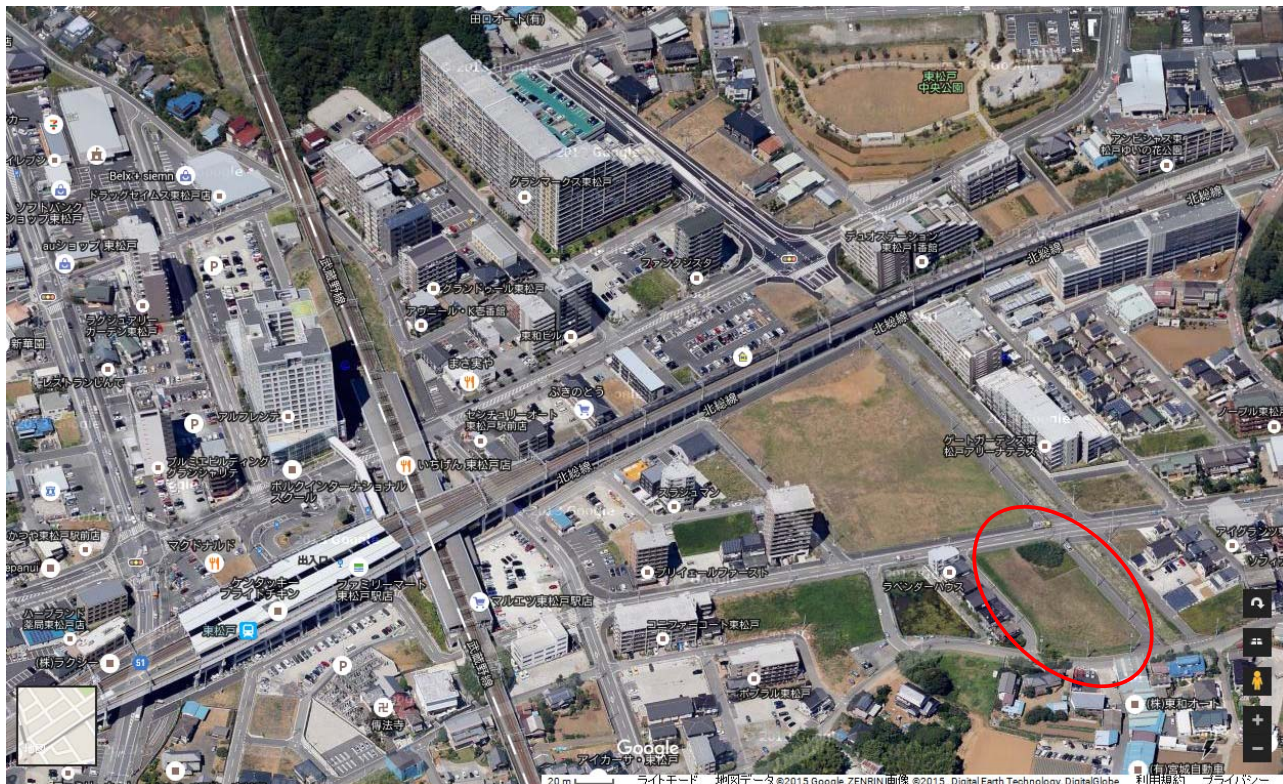


町丁目について



S=1:40000

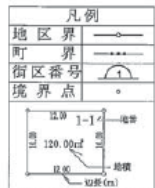
(4)まちづくり用地(東松戸65街区)の利活用について



1

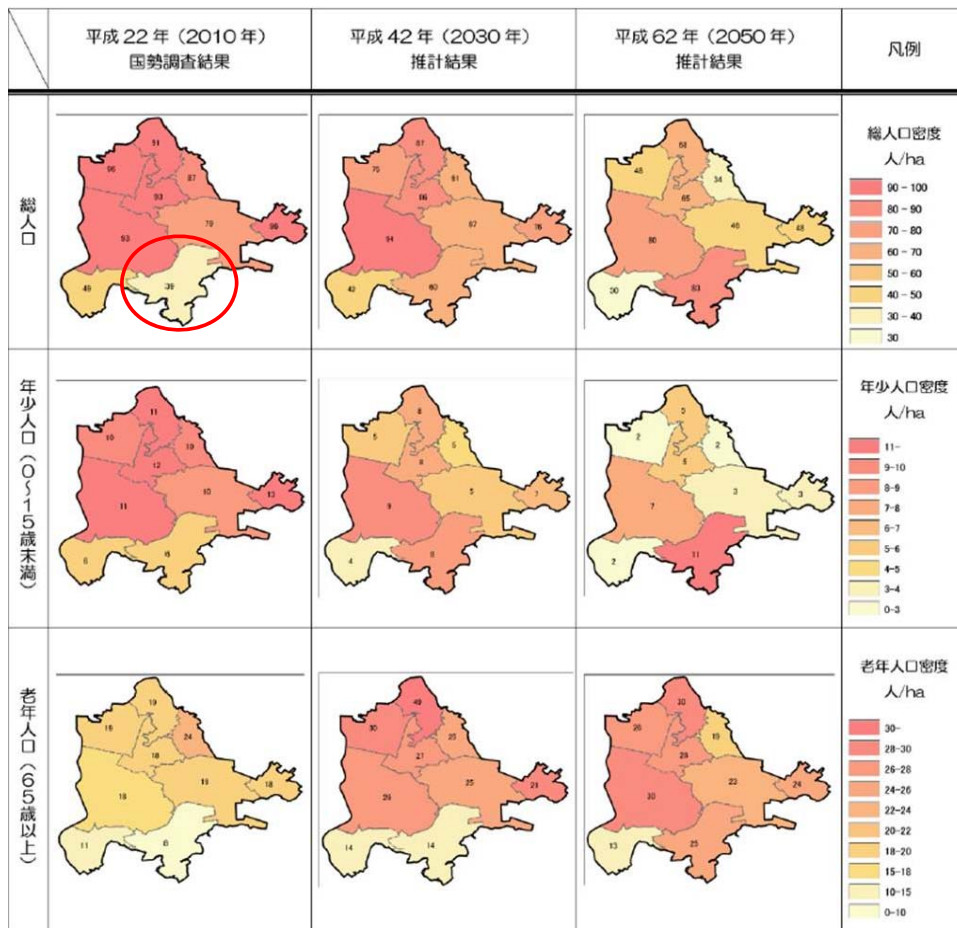


所在地	松戸市東松戸二丁目14-1・14-4・14-5 14-6・14-7・14-8・14-9
土地面積	約2,876㎡
都市計画による制限	区域区分 : 市街化区域 用途地域 : 第2種住居地域(60/200) 第1種中高層住居専用地域(60/200) ※面積の過半は第2種住居地域 防火・準防火地域: 防火指定なし 高度地区 : 第1種高度地区 地区計画 : 紙敷地区地区計画



紙 敷

2



3

> 公共施設の配置状況

4

東松戸まちづくり用地(旧65街区)活用工程(案)

前提: 公設公営施設、2,000㎡程度、用途: 図書館、支所、子育て

2016年1月 活用素案公開
2016年4月 官学連携アドバイザー業務開始
※シャレットワークショップ及びパブリックミーティング開催
2016年6月 施設整備基本構想の確定

2016年7月 設計業務委託プロポ公告
2016年10月 設計者との契約
<基本設計(5か月)、実施設計(7か月)>
2017年12月 施工者との契約
2018年4月 着工
<工期16か月>
2019年8月 竣工

5

大宮プロジェクト第5回パブリックミーティング



提供: 東洋大学理工学部建築学科